

特集

認知症予防と治療の進歩

わが国はすでに超高齢化社会へ突入しており、認知症者数のさらなる急増が見込まれています。今や、高齢化に伴う認知症問題は世界各国でも共有され、認知症に対するさまざまな取組みが国際的規模で精力的に進められています。今回の本特集では、「認知症予防と治療の進歩」というテーマで、新オレンジプラン、予防、早期診断、薬剤開発、および非薬物療法を取り上げ、これらについてご解説いただきました。

認知症施策推進総合戦略（オレンジプラン） 新美芳樹氏……………7

2015年1月27日に、認知症施策を加速させるため、「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)が策定された。わが国における認知症者に関する将来推計や新オレンジプラン策定にいたるまでの施策のあゆみと国際的な動向を概観した後、新オレンジプランについて予防や治療の観点から解説した。

認知症予防対策の効果とこれからの方向性 朝田隆氏……………15

認知症性疾患の危険因子・防御因子のうち、予防では、2次的小および3次的要因に対する介入が試みられてきた。これらの要因に対する介入を主に扱った4件の包括的な検証結果を紹介し、これからの方向性として、早期発見を実現するために行動に関するチェックリストの必要性や、早期発見が早期絶望に繋がらないための支援のあり方について述べた。

ニュース	障害児の読書応援、212作品デジタル書籍化—全国に寄贈（東京の財団）……………	28
	福祉用具、モーター歩行器追加へ—介護保険の対象を検討（厚生労働省）……………	34
	農福連携を全国に一厚生労働省の前で障害者ら販売……………	45
	東京五輪パラリンピック、芸術で盛り上げよう—障害者ら23団体が連携……………	51
	小諸高原病院でプラネタリウム—入所者向けに……………	52
	災害対応カードで確認—読売療育賞……………	52
	第23回総合リハビリテーション賞贈呈式開催される……………	57
	2013年度 社会保障給付費、111兆円、過去最高—1人当たりも1.7%増……………	58
	「ノーマライゼーション 障害者の福祉」11月号・特集目次……………	58
	テレビの字幕放送43%—手話はいまだ0.1%（総務省）……………	58

早期診断 古川勝敏氏ら……………21

認知症のバイオマーカーを広義に捉えると、生化学マーカーだけでなく脳画像データも含まれる。代表的な生化学マーカーにはタウ（tau）などがあるが、発症前診断や治療評価などに有用で信頼性の高い生化学マーカーの確立が望まれる。画像診断では、近年脳でのアミロイド β （A β ）や tau 沈着の画像化が可能になり、これらの分子画像も積極的に利用されている。

抗認知症薬剤開発の現状と展望 西村正樹氏……………29

現在、臨床において認知症の病態進展を根本的に抑制する薬剤はない。A β カスケード仮説が提唱されてから、脳内 A β 蓄積を指標とした先制医療として、さまざまな抗 A β 治療が考案されている。最近になって先制医療の有効性を示す治験結果が 2 件報告され、抗 A β 治療によって病初期の症状進行が抑制される可能性が期待されている。

非薬物療法 田中尚文氏……………35

認知症に対する非薬物療法のうち、認知刺激療法や運動療法に関するランダム化比較研究は比較的件数が多く、これらのエビデンスは集積しつつある。本稿では、主な非薬物療法としてよく用いられている、回想法、認知的アプローチ（認知刺激療法、認知訓練、認知リハビリテーション）、音楽療法、および運動療法について、最近の研究を中心に概説した。

知的や難病も対象、障害者採用の門戸広げる一兵庫・明石市……………63

パラリンピック、共同オフィス新設—25 競技団体が利用……………76

書評 特別支援教育時代の光り輝く映画たち（評者：高橋正雄）……………13

お知らせ 2016 年ボバースアプローチ脳性麻痺 8 週間講習会……………63

日本精神保健福祉政策学会第 25 回学術大会……………76